

— 二つの帝国をめぐる考古学のいま —

# 唐とウイグル

2025 11/1 (土)

[12時30分～17時00分]

会場 東北学院大学土樋キャンパス  
ホーイ記念館 3階 H301 教室

プログラム 12:00 開場

12:30～13:50

◆基調報告

「唐王朝の京師—構造・機能とその影響力—」

城倉 正祥 (早稲田大学文学学術院教授)

[13:50～14:00 休憩]

14:00～15:30

◆個別報告 1

「モンゴルにおけるウイグル可汗国の考古学研究」

アンフバヤル・バツォーリ (モンゴル科学アカデミー考古学研究所匈奴研究室研究員)

通訳: 楊雪雁 (東北学院大学大学院文学研究科後期課程)

[15:30～15:40 休憩]

15:40～17:00

◆個別報告 2

「隋唐および東・北アジアの都城と地方都市における瓦生産の特色」

佐川 正敏 (東北学院大学文学部教授)

参加費無料  
参加申込不要

当日は会場まで直接  
お越しください。

【主催】 東北学院大学アジア流域文化研究所

【協力】 『ウイグル可汗国の北東境界統治と周辺諸族との関係に関する考古学的研究』  
(科研費基盤研究 (A) 代表: 木山克彦)

東北学院大学アジア流域文化研究所

[TEL・FAX] 022-264-6370 [E-mail] ryuiki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

[URL] <http://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/~hicarb/>

お問い合わせ

